

XII 一般口演

学術講演 第1日目 5月9日(木)

第2会場 (10階「1001」)

第1群 鼓膜形成術

(10:50~11:40)

座長：比野平恭之(神尾記念病院) 深美 悟(獨協医科大学)

- | | | | |
|-------|---|------|----------------------------|
| 0-001 | 当科における鼓膜形成術の治療成績 | 門脇誠一 | (東京女子医科大学東医療センター) |
| 0-002 | 広範囲鼓膜炎を合併する慢性中耳炎に対するsubannular grafting sandwich法による鼓膜形成術の有用性 | 河野浩万 | (河野耳鼻咽喉科 Ear Surgi Clinic) |
| 0-003 | 鼓膜輪消失例に対する軟骨を使った鼓膜再建術 | 松田圭二 | (宮崎大学) |
| 0-004 | 当科における中耳内視鏡による鼓膜形成術の検討 | 古川孝俊 | (山形大学) |
| 0-005 | 鼓膜小穿孔に対するinlay butterfly cartilage tympanoplasty | 田中康広 | (獨協医科大学埼玉医療センター) |

第2群 鼓室形成術

(11:40~12:30)

座長：菊地 茂(埼玉医科大学総合医療センター) 菅原 一真(山口大学)

- | | | | |
|-------|--|------|--------------------|
| 0-006 | 鼓室形成術Ⅲ型の術後成績—顕微鏡下手術と内視鏡下手術の比較— | 小林泰輔 | (高知大学) |
| 0-007 | 耳小骨再建の長期成績：短期成績との比較 | 三代康雄 | (兵庫医科大学) |
| 0-008 | 外耳道削除型鼓室形成術(CWD)後の再形成性再発例に対する1枚の大きな薄切軟骨を用いた鼓膜形成術 | 小森正博 | (高知大学) |
| 0-009 | 当科における術後性中耳炎の鼓室形成術 | 坪田雅仁 | (帝京大学附属溝口病院) |
| 0-010 | 耳管狭窄・閉塞症例への鼓室形成術 | 梅田裕生 | (細田耳鼻科 EAR CLINIC) |

第3会場 (10階 [1002])

第 3 群 咽頭 1

(10:50~11:50)

座長：鈴木 雅明 (帝京大学ちば総合医療センター) 牧山 清 (日本大学)

- | | | | |
|-------|--|-------|-----------------------------------|
| 0-011 | 口蓋扁桃摘出術の術後出血により血液凝固異常症と判明した1例 | 青木由香 | (東邦大学医療センター大橋病院) |
| 0-012 | 睡眠呼吸障害に対する手術的対応 | 久松建一 | (久松耳鼻咽喉科医院/土浦いびき・睡眠呼吸障害センター/日本大学) |
| 0-013 | 成人における口蓋扁桃摘出術での術中術後ステロイド投与の検討 | 三浦康士郎 | (神尾記念病院) |
| 0-014 | マイクロデブリッターを用いた被膜内口蓋扁桃切除術 (Powered Intracapsular Tonsillectomy) | 手塚綾乃 | (自治医科大学) |
| 0-015 | マイクロデブリッター使用によるアデノイド切除術の検討—手術の勘所と従来法の比較— | 稲田紘也 | (藤田医科大学ばんだね病院) |
| 0-016 | アデノイド手術における従来型手術の問題点と内視鏡の有用性の検討 | 千葉真人 | (公立置賜総合病院) |

第 4 群 咽頭 2

(11:50~12:50)

座長：千年 俊一 (久留米大学) 和田 弘太 (東邦大医療センター大森病院)

- | | | | |
|-------|---|-------|------------------|
| 0-017 | 当院における外傷性咽頭後間隙血腫3症例の検討 | 若杉 亮 | (新潟市民病院) |
| 0-018 | 鼻咽腔炎 (慢性上咽頭炎) 症例に対する上咽頭処置 (Bスポット治療) の治療効果 | 杉浦むつみ | (久我クリニック) |
| 0-019 | ホルムアルデヒド代替液による咽喉食摘標本を用いた経口的下咽頭手術シミュレーション | 栗田 卓 | (久留米大学) |
| 0-020 | 舌に迷入した魚骨の摘出に難渋した1例 | 川畠洋平 | (秋田大学) |
| 0-021 | 当科における全身麻酔下異物摘出症例の検討~成人例を中心に~ | 大平真也 | (東邦大学医療センター大森病院) |
| 0-022 | 喉頭全摘後患者に発生した咽頭異物症例の検討 | 阪上智史 | (関西医科大学) |

第4会場 (10階 [1003])

第5群 平衡基礎1

(10:50~11:40)

座長：野村 泰之 (日本大学) 藤坂実千郎 (富山大学)

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------|
| 0-023 | 回転加速度刺激と視覚刺激の不一致が大脳皮質血流
応答に及ぼす影響 | 高倉大匡 | (富山大学) |
| 0-024 | 下半身陽圧負荷を用いた体重免荷が歩行運動に及ぼ
す影響—前庭リハビリテーションへの応用を目指し
て— | 中村陽祐 | (鳥取大学) |
| 0-025 | 携帯歩行計を用いた定量的歩行検査の検討—聴神経
腫瘍患者の歩行評価— | 小泉 洸 | (秋田大学) |
| 0-026 | リチウム中毒が原因と考えられた下眼瞼向き眼振症
例 | 高岡美渚季 | (日本赤十字社医療センター) |
| 0-027 | 眼鏡装用の右単眼性回旋眼振症例の眼球運動と臨床
経過について | 岡田智幸 | (聖マリアンナ医科大学) |

第6群 平衡基礎2

(11:40~12:40)

座長：工 穰 (信州大学) 角田 篤信 (順天堂大学)

- | | | | |
|-------|---|------|--------------------|
| 0-028 | 難治性平衡障害に対する前庭感覚代行技術を用いた
平衡訓練の効果 | 佐藤 豪 | (徳島大学) |
| 0-029 | ノイズ前庭電気刺激による立位体平衡改善効果は非
刺激時の身体動揺がより不安定なほど大きい | 藤本千里 | (東京通信病院) |
| 0-030 | head impulse test の corrective saccade の形成に頸
部からの入力及ぼす影響 | 岩崎真一 | (東京大学) |
| 0-031 | 眼球運動検査装置用プログラム“y VOG (ワイボー
グ)”について | 角田篤信 | (順天堂大学医学部練馬病
院) |
| 0-032 | 軽量赤外線フレンツェル製品による三次元 VOG
—日常診療および研究における有用性— | 橋本 誠 | (山口大学) |
| 0-033 | ガルバニック前庭刺激に対する三次元 video-ocu-
lography を用いた眼球運動の解析 | 沖中洋介 | (山口大学) |

第5会場 (10階 [1004+1005])

第 7 群 内耳基礎

(10:50~11:50)

座長：川島 慶之 (東京医科歯科大学) 工田 昌也 (広島大学)

- | | | | |
|-------|--|-------|--------------|
| 0-034 | モデルマウスを用いた Pendred 症候群における平衡障害の病態解析 | 伊藤 卓 | (東京医科歯科大学) |
| 0-035 | ヒスタミン H3 受容体拮抗薬の前庭代償促進効果：動物モデルにおける免疫組織化学的手法を用いた新しい評価 | 松田和徳 | (徳島大学) |
| 0-036 | マウス蝸牛有毛細胞における Tmc1 と Tmc2 の機能解析 | 中西 啓 | (浜松医科大学) |
| 0-037 | マウスらせん神経節における NESTIN 陽性細胞の役割 | 竹田大樹 | (熊本大学) |
| 0-038 | 内リンパ液の維持に関与するらせん靭帯膜タンパク質の網羅的解析 | 野々村頼子 | (新潟大学) |
| 0-039 | 連続音負荷時のモルモット聴皮質神経活動の変化 | 釦持 陸 | (聖マリアンナ医科大学) |

第 8 群 内耳臨床 1

(11:50~12:50)

座長：稲垣 太郎 (東京医科大学) 中山 明峰 (名古屋市立大学)

- | | | | |
|-------|---|------|-----------------|
| 0-040 | メニエール病患者の睡眠脳波について | 中山明峰 | (名古屋市立大学) |
| 0-041 | 急性低音障害型感音難聴の再発例、メニエール病移行例の検討 | 藤田信哉 | (日本生命済生会日本生命病院) |
| 0-042 | メニエール病と片頭痛の合併の割合について | 村上知聡 | (東海大学) |
| 0-043 | メニエール病非定型例 (前庭型) における造影 MRI を用いた内リンパ水腫の検討 | 森田由香 | (新潟大学) |
| 0-044 | メニエール病における内耳造影 MRI での内リンパ水腫の有無とめまい発作時の眼振の方向との関係 | 奥村朋子 | (大阪大学) |
| 0-045 | 内リンパ水腫関連疾患におけるフロセミド負荷 VEMP の有用性 | 瀬尾 徹 | (近畿大学) |

第 9 群 聴覚基礎

(17:40~18:50)

座長：嶋原俊太郎 (日本大学) 平海 晴一 (岩手医科大学)

- | | | | |
|-------|---|--------|------------|
| 0-046 | X染色体ゲノム構造変化による難聴症例 | 茂木英明 | (信州大学) |
| 0-047 | EYA4 遺伝子変異 4 症例から樹立した iPS 細胞由来内耳細胞と難聴の表現型についての検討 | 松崎佐栄子 | (順和会山王病院) |
| 0-048 | 聴覚新機構；外有毛細胞共振説について | 森満 保 | (宮崎大学名誉教授) |
| 0-049 | 内耳感覚細胞における小胞体ストレス誘導性ネクロプトーシス | 岸野明洋 | (日本大学) |
| 0-050 | Inhibitor of differentiation and DNA-binding (Id) 因子の蝸牛有毛細胞再生への応用 | 坂本 進 | (京都大学) |
| 0-051 | エクソン上の点変異に伴うペンドリンのスプライシング異常に関する検討 | 和佐野浩一郎 | (東京医療センター) |
| 0-052 | 内耳感覚細胞の過興奮性細胞死における細胞外エクソソーム miRNA と細胞内オートファジーのクロストーク | 林 賢 | (神尾記念病院) |

第6会場 (10階 [1006+1007])

第 10 群 耳鳴

(10:50~11:50)

座長：内田 育恵 (愛知医科大学) 柿木 章伸 (神戸大学)

- | | | | |
|-------|--|-------|--------------|
| 0-053 | 耳鳴症初診時におけるアンケート調査結果 | 堀部裕一郎 | (広島大学病院) |
| 0-054 | 耳鳴・幻聴に対する神経耳科学的評価 | 清水謙祐 | (建悠会吉田病院) |
| 0-055 | 当科における耳鳴診療の現状 | 南 隆二 | (けいゆう病院) |
| 0-056 | 補聴器による音響療法を行った耳鳴患者の検討 聴覚リハビリテーションを継続できなかった症例を中心に | 山田浩之 | (けいゆう病院) |
| 0-057 | 中高年者の耳鳴における血流・血管障害関連遺伝子多型の検討 | 寺西正明 | (名古屋大学) |
| 0-058 | 情報理論としての新たな耳鳴モデルの提案：知覚更新モデル | 野田和裕 | (音和会のだ耳鼻咽喉科) |

第 11 群 外リンパ漏

(11:50~12:40)

座長：伊藤 彰紀 (埼玉医科大学神経耳科) 伊藤 健 (帝京大学)

- | | | | |
|-------|----------------------------------|------|-----------|
| 0-059 | 頭部外傷により Perilymph gusher を来した1症例 | 横井 慶 | (大阪警察病院) |
| 0-060 | 兄妹の両側性外リンパ瘻症例を経験して | 牧野邦彦 | (新須磨病院) |
| 0-061 | 当科におけるCTP陽性外リンパ瘻の経過と治療成績 | 西嶋文美 | (翠明会山王病院) |
| 0-062 | 当科の外リンパ瘻症例手術適応と術後経過 | 松田 帆 | (埼玉医科大学) |
| 0-063 | 外リンパ瘻症例の分類と手術法 | 池園哲郎 | (埼玉医科大学) |

第 12 群 真珠腫

(17:40~18:30)

座長：坂口 博史 (京都府立医科大学) 山本 裕 (東京慈恵会医科大学)

- | | | | |
|-------|-----------------------------|------|------------------|
| 0-064 | 真珠腫に対する外耳道保存型鼓室形成術の有用性 | 白馬伸洋 | (帝京大学附属溝口病院) |
| 0-065 | 当科における外耳道削除型鼓室形成術・乳突腔充填術の検討 | 遠藤志織 | (浜松医科大学) |
| 0-066 | 20年以上経過観察した弛緩部型真珠腫の術後形態の検討 | 松井和夫 | (聖隷横浜病院) |
| 0-067 | 弛緩部型真珠腫術後の中耳腔含気についての検討 | 茂木雅臣 | (東京慈恵会医科大学) |
| 0-068 | 外耳道真珠腫に対する有効な治療方針に関する検討 | 菅野万規 | (獨協医科大学埼玉医療センター) |

第7会場 (10階 [1008])

第 13 群 喉頭

(10:50~11:50)

座長：阿部 晃治 (徳島大学) 室野 重之 (福島県立医科大学)

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|-------|------------------|
| 0-069 | 再発性喉頭乳頭腫—ワクチン手術併用療法後のHPV陰性化と治療効果— | 松崎洋海 | (日本大学病院) |
| 0-070 | 輪状軟骨切開術を施行した16症例の検討 | 竹村和哉 | (堺市立総合医療センター) |
| 0-071 | 当科で行った輪状軟骨開窓術の検討 | 垣野内 景 | (福島県立医科大学) |
| 0-072 | 当科で行っている披裂軟骨内転術の工夫 | 松島康二 | (東邦大学医療センター大森病院) |
| 0-073 | 3D外視鏡下で行う披裂軟骨内転術の有用性 | 福原隆宏 | (鳥取大学) |
| 0-074 | 国立病院機構 (NHO) 感覚器研究班によるエビデンスの検証 | 角田晃一 | (東京医療センター) |

第 14 群 音声言語

(11:50~12:40)

座長：片岡 英幸 (鳥取大学) 渡邊 雄介 (国際医療福祉大学東京ボイスセンター)

- | | | | |
|-------|--|------|---------------------|
| 0-075 | Voice Handicap Index 日本語版による音声障害の評価と病態識別値 (カットオフ値) の決定 | 金澤丈治 | (国際医療福祉大学東京ボイスセンター) |
| 0-076 | 健常高齢者における発声機能の検討 | 田村悦代 | (東海大学) |
| 0-077 | (演題取り下げ) | | |
| 0-078 | プローブ型マイクロフォンを用いた声門上部音圧変動解析 | 片岡英幸 | (鳥取大学) |
| 0-079 | 筋委縮性側索硬化症による構音障害に対する鼻咽腔閉鎖機能の改善とその意義 | 前田恭世 | (東京女子医科大学八千代医療センター) |
| 0-080 | 声帯ポリープに対する「腹式呼吸を重点に置いた簡易音声訓練法」の治療効果 | 楠 威志 | (順天堂大学医学部附属静岡病院) |

第 15 群 感染症

(17:40~18:40)

座長：秋定 健 (川崎医科大学) 坂田 俊文 (福岡大学)

- | | | | |
|-------|-----------------------------|-------|------------|
| 0-081 | 当院を受診した伝染性単核球症症例の検討 | 久保和彦 | (千鳥橋病院) |
| 0-082 | 頭頸部癌治療中に血液培養で検出された真菌感染症の検討 | 浦口健介 | (高知医療センター) |
| 0-083 | 当科における急性喉頭蓋炎症例の検討 | 野々村万智 | (倉敷中央病院) |
| 0-084 | 深頸部膿瘍から降下性壊死性縦隔炎へ至る危険因子は何か? | 木村朱里 | (北里大学病院) |
| 0-085 | 深頸部膿瘍の入院期間遷延に関連する要因 | 福家智仁 | (伊勢赤十字病院) |
| 0-086 | 頸部リンパ節結核の検討 | 伊藤文展 | (東京医療センター) |

第8会場 (10階 [1009])

第 16 群 唾液腺 1

(10:50~11:50)

座長：野中 学 (東京女子医大) 堀井 新 (新潟大学)

- | | | | |
|-------|--|-------|---------------------|
| 0-087 | IgG4 関連硬化性顎下腺炎 (IgG4 SSS) における血清 IgG4 値 (sIgG4) の経年的変化 | 今野昭義 | (脳神経疾患研究所附属総合南東北病院) |
| 0-088 | IgG4 関連疾患における顎下腺の線維化メカニズムの解析 | 矢島諒人 | (札幌医科大学) |
| 0-089 | 放射線治療を行った頭頸部領域発症の木村氏病の6例 | 馬場洋徳 | (新潟大学) |
| 0-090 | 木村病におけるT細胞サブセットの検討 | 崎谷恵理 | (東京女子医科大学) |
| 0-091 | 顎下部腫瘍から診断された全身性 IgG4 関連疾患の一例 | 清野由輩 | (北里大学) |
| 0-092 | 当科における唾液腺腫瘍の臨床統計 | 宇佐美龍太 | (自衛隊札幌病院) |

第 17 群 唾液腺 2

(11:50~12:50)

座長：大堀純一郎 (鹿児島大学) 松延 毅 (日本医科大学)

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-------------|
| 0-093 | 顎下腺移行部の唾石症患者における唾石摘出術の検討 | 江崎伸一 | (名古屋市立大学) |
| 0-094 | 当院での顎下腺深部・移行部唾石に対する内視鏡手術と口内法手術の位置づけ | 久満美奈子 | (千葉市立海浜病院) |
| 0-095 | 唾液腺管内視鏡の唾石症以外の疾患への応用 | 松延 毅 | (日本医科大学) |
| 0-096 | 唾石との鑑別を要した静脈石を伴う耳下腺静脈奇形症例 | 鈴木貴博 | (東北医科薬科大学) |
| 0-097 | 副咽頭間隙に進展したガマ腫に対する硬化療法 | 太田伸男 | (東北医科薬科大学) |
| 0-098 | エクスプラント培養法を用いた口腔粘膜上皮細胞シートの新規作製法の検討 | 森野常太郎 | (東京慈恵会医科大学) |

第 18 群 耳科画像診断

(17:40~18:40)

座長：乾 崇樹 (大阪医科大学) 高橋 邦行 (新潟大学)

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|------------|
| 0-099 | 超高精細 CT を用いたアブミ骨手術症例の検討 | 比嘉輝之 | (琉球大学) |
| 0-100 | コーンビーム CT によるアブミ骨手術中評価 | 山本典生 | (京都大学) |
| 0-101 | 術中 3D モデルシミュレーションを用いた錐体骨深部病変へのアプローチ | 高橋邦行 | (新潟大学) |
| 0-102 | 耳硬化症内リンパ水腫合併例の臨床的特徴 | 杉本賢文 | (名古屋大学) |
| 0-103 | 一側小耳症における顔面神経ならびにアブミ骨筋の走行の検討 | 池田怜吉 | (東北医科薬科大学) |
| 0-104 | 中耳手術野における顔面神経の走行一側頭骨マルチスライス CT を用いた解析 | 綾仁悠介 | (大阪医科大学) |

第9会場 (12階「特別会議場」)

第 19 群 頭頸部 1

(10:50~11:50)

座長：朝蔭 孝宏 (東京医科歯科大学) 松浦 一登 (宮城がんセンター)

- | | | | |
|-------|--|------|--------------|
| 0-105 | 放射性粘膜炎による敗血症から両側副腎出血を来したと考えられ、急速な転帰をとった喉頭癌症例 | 荻野裕平 | (関西医科大学) |
| 0-106 | 喉頭全摘出時の甲状腺の取り扱いについて～気管傍リンパ節転移率とそのリスク因子～ | 富岡拓矢 | (足利赤十字病院) |
| 0-107 | 喉頭全摘出時の甲状腺の取り扱いについて～甲状腺機能・副甲状腺機能温存率と機能低下のリスク因子～ | 富岡拓矢 | (足利赤十字病院) |
| 0-108 | 当科における喉頭癌の臨床的検討 | 倉上和也 | (山形県立中央病院) |
| 0-109 | 過去20年間ににおける口腔癌の臨床的検討—舌癌とその他口腔癌との比較— | 木村隆幸 | (大阪国際がんセンター) |
| 0-110 | 当科における舌癌症例の UICC 第8版訂正版による新旧 TNM 分類と治療成績の相関についての検討 | 曹 弘規 | (大阪国際がんセンター) |

第 20 群 頭頸部 2

(11:50~12:50)

座長：菅澤 正 (埼玉医科大学) 藤本 保志 (名古屋大学)

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|------------|
| 0-111 | 外耳道腺様嚢胞癌の臨床的検討 | 杉本寿史 | (金沢大学) |
| 0-112 | 当院における外耳道癌症例の検討 | 鈴木成尚 | (慶應義塾大学) |
| 0-113 | 外耳道非扁平上皮癌例の特徴とその対応 | 堤 剛 | (東京医科歯科大学) |
| 0-114 | 当科における AYA 世代の頭頸部癌診療の実際 | 牧田春菜 | (金沢大学) |
| 0-115 | 当科で行った頭頸部再建手術の治療成績～高齢者に対する頭頸部再建手術の適応～ | 進 武一郎 | (久留米大学) |
| 0-116 | 放射線性下顎骨壊死に対し腓骨皮弁再建施行した症例の移植部感染に関する検討 | 吉田 聖 | (九州大学) |

第 21 群 頭頸部 3

(17:40~18:40)

座長：峯田 周幸 (浜松医科大学) 吉本 世一 (国立がんセンター)

- | | | | |
|-------|---|-------|--------------|
| 0-117 | 頸部リンパ節転移における PET/CT の有用性 | 金村 亮 | (徳島大学) |
| 0-118 | 喉頭下咽頭癌における治療前 PET 検査を用いた予後予測能の検討 | 佐藤陽一郎 | (川崎市立川崎病院) |
| 0-119 | 頭頸部悪性腫瘍切除・遊離組織移植術における合併症予測因子としての術前栄養状態・免疫能の検討 | 今井隆之 | (宮城県立がんセンター) |
| 0-120 | 食餌性グルコシルセラミドの頭頸部発癌抑制効果の検討 | 藤原和典 | (鳥取大学) |
| 0-121 | 多発頸部リンパ節転移を伴う頭頸部癌症例の検討 | 杉山智宣 | (埼玉県立がんセンター) |
| 0-122 | 原発不明頸部転移癌に対する免疫染色の有用性についての検討 | 関水真理子 | (慶應義塾大学) |

第10会場 (12階「1202」)

第 22 群 甲状腺悪性 1 (10:50~11:50)

座長：折田 頼尚 (熊本大学) 家根 且有 (近畿大学)

- | | | | |
|-------|---|-------|------------------|
| 0-123 | レンバチニブ治療による可逆性後白質脳症を起こした甲状腺未分化癌患者の経過 | 大澤陽子 | (福井赤十字病院) |
| 0-124 | レンバチニブが奏効した甲状腺乳頭癌隣臓転移症例の報告 | 松尾美央子 | (九州大学) |
| 0-125 | レンバチニブ投与例の検討 | 原田博之 | (田附興風会医学研究所北野病院) |
| 0-126 | 進行甲状腺癌に対する分子標的薬導入時の好中球・リンパ球比の臨床的意義の検討 | 友田智哲 | (伊藤病院) |
| 0-127 | 甲状腺癌での免疫抑制環境における effector regulatory T cell の解析 | 佐野 塁 | (愛知医科大学) |
| 0-128 | カルシトニン陰性であった甲状腺髄様癌小細胞型の一例 | 丹羽一友 | (横浜労災病院) |

第 23 群 甲状腺悪性 2 (11:50~12:50)

座長：清水 顕 (東京医科大学) 門田 伸也 (国立病院機構四国がんセンター)

- | | | | |
|-------|---|-------|-----------|
| 0-129 | 甲状腺分化癌局所進行例の予後に関する検討 | 森谷季吉 | (草津総合病院) |
| 0-130 | 偶発癌としての甲状腺癌174例の臨床的検討 | 間多祐輔 | (総合南東北病院) |
| 0-131 | 当院における転移性甲状腺癌症例の予後の検討 | 川崎泰士 | (静岡赤十字病院) |
| 0-132 | 甲状腺癌手術時の術中反回神経モニタリングの使用と術後反回神経麻痺についての検討 | 水野佳世子 | (京都大学) |
| 0-133 | 甲状腺腫瘍における穿刺吸引細胞診に関する検討 | 細川誠二 | (浜松医科大学) |
| 0-134 | 甲状腺悪性リンパ腫の検討 | 八木正夫 | (関西医科大学) |

第 24 群 甲状腺手術 (17:40~18:40)

座長：鈴木 幹男 (琉球大学) 塚原 清彰 (東京医科大学)

- | | | | |
|-------|---|------|-----------------------|
| 0-135 | 甲状腺手術における術中持続神経モニタリング(CIONM)の使用経験 | 岡村 純 | (聖隷浜松病院) |
| 0-136 | 甲状腺腫瘍手術における術後声帯麻痺の検討 | 生駒 亮 | (国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院) |
| 0-137 | 多様な甲状腺疾患に必要とされる内視鏡下甲状腺手術(VANS-3S法)テクニクとコツ | 片山昭公 | (札幌徳洲会病院) |
| 0-138 | 甲状腺濾胞性腫瘍の術前画像診断におけるマルチモダリティの可能性について | 下出祐造 | (金沢医科大学) |
| 0-139 | パセドウ病手術における超音波所見と出血量に関する検討 | 坂井利彦 | (亀田総合病院) |
| 0-140 | 当科における PEIT 施行症例の検討 | 野村 智 | (金沢医科大学) |